



(4,000円)

実用新案登録願 (B) 後記号なし

特許庁長官殿

昭和54年6月30日



1 考案の名称

ユカメンセイソウキ
床面清掃機

2 考案者

住所 大阪府門真市大字門真1006番地
松下電器産業株式会社内
氏名 ツツミ シン ヤ
堤 信 也

3 実用新案登録出願人

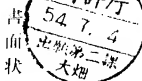
住所 大阪府門真市大字門真1006番地
名称 (582) 松下電器産業株式会社
代表者 山下俊彦

4 代理人

〒540
住所 大阪市東区谷町1丁目42番地ノ1 夫宮井
エルフ大手前ビル616 也井理
(7617) 弁理士 宮井映人 映士

5 添付書類の目録

- (1) 明細書
(2) 図面
(3) 委任状
(4) 願書副本



1 通
1 通
通
通

54 091605

P34E

明 細 書

1. 考案の名称

床面清掃機

2. 実用新案登録請求の範囲

・ 捻転自在の移動操作用ハンドルと、その捻転機
・ 作に連動して向きを変えることができる車軸をも
・ つ移動用車輪と、この移動用車輪により駆動され
・ る吸塵部と、この吸塵部に連結された清掃機本体
・ とを備えた床面清掃機。

3. 考案の詳細な説明

・ この考案は床面清掃機に関するものである。

・ 車輪で吸塵口と清掃機本体を支えるようにし上
・ 方へ向って長柄状のハンドルを突出させた第1図
・ および第2図に示す形式の従来の電気掃除機は、
・ 清掃作業中に進行方向を変えるためには車輪1を
・ 中心としてハンドル2を大きく回動しなければな
・ らず、大きな労力を要するうえそのために作業者
・ 自身も横に移動しなければならないという問題が
・ あった。

したがって、この考案の目的は、この問題を解

・ 決し進行方向を極めて容易に転換することができ
・ る床面清掃機を提供することである。

・ この考案の一実施例を第 3 図および第 4 図に示
・ す。すなわち、この床面清掃機は、捻転自在の長
・ 柄状の移動操作用ハンドル 3 と、その捻転操作に
・ 連動して向きが変わる車軸 4 をもつ移動用車輪 5
・ と、この移動用車輪 5 により駆動される吸塵部 6
・ と、この吸塵部 6 に連結された清掃機本体 7 とを
・ 備えたもので、移動操作用ハンドル 3 を操作して
10 この床面清掃機を押し進めながら吸塵部 6 の下部
・ の床用吸込口 8 に設けたブラシ 9 で掃きよせられ
・ る塵埃を清掃機本体 7 の集塵袋内に収納するよう
・ にしている。そしてこの移動操作用ハンドル 3 は
・ その下端に屈曲レバー 10 を取付けるとともにそ
15 の両分岐端からロッド 11、リンク 12 を介して
・ T 字型の車軸 4 と連結し、移動操作用ハンドル 3
・ をたとえば第 4 図のように時計方向に捻転したと
・ きに車軸 4 が同じく時計方向に回転するようにし
・ ている。

・ なお、この移動操作用ハンドル 3 は清掃機本体

・ 7 の上下部分に軸受型の取付金具 1 3 で回転（捻
・ 転）自在に固定されている。

・ このように構成したため、この床面清掃機を床
・ 面上に移動させながら清掃する場合に、その移動
・ 5 操作作用ハンドル 3 を捻じるだけで車軸 4 の向きが
・ 変って移動用車輪 5 の進行方向が変わり、吸塵部 6
・ を移動用車輪 5 の向いた方向へ移動することがで
・ きる。すなわち、移動操作作用ハンドル 3 の捻転操
・ 作に連動して極めて簡単に吸塵部 6 の移動方向が
・ 10 変わり、新たな床面へ向って進むことができ、移動
・ 用車輪 5 を中心として清掃機本体を持上げて移動
・ 操作作用ハンドル 3 を大きく回転させたり、作業者
・ 自身が横に大きく移動する必要もなく、能率よく
・ 清掃作業を行うことができる。

・ 15 なお、この考案は吸塵部 6 と清掃機本体 7 とを
・ ホース等で連結した他の形式の清掃機にも適用す
・ ることができる。

・ 以上のように、この考案の床面清掃機は、捻転
・ 自在の移動操作作用ハンドルと、その捻転操作に連
・ 20 動して向きを変えることができる車軸をもつ移動

・ 用車輪と、この移動用車輪により駆動される吸塵部と、この吸塵部に連結された清掃機本体とを備えたため、進行方向を極めて容易に転換できるという効果がある。

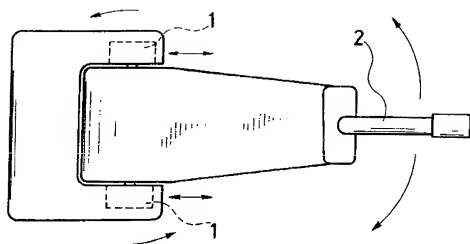
4. 図面の簡単な説明

・ 第1図は従来の床面清掃機の一例を示す概略平面図、第2図はその側面図、第3図はこの考案の一実施例の側面図、第4図はその下面図である。

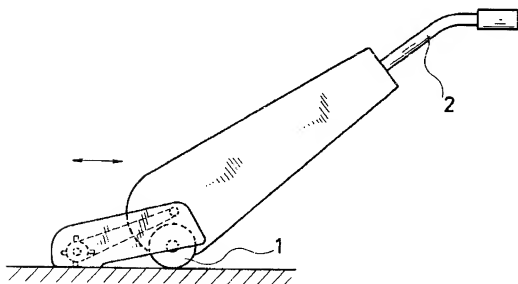
・ 3…移動操作作用ハンドル、4…車軸、5…移動用車輪、6…吸塵部、7…清掃機本体

代 理 人 弁 理 士 宮 井 暎 夫



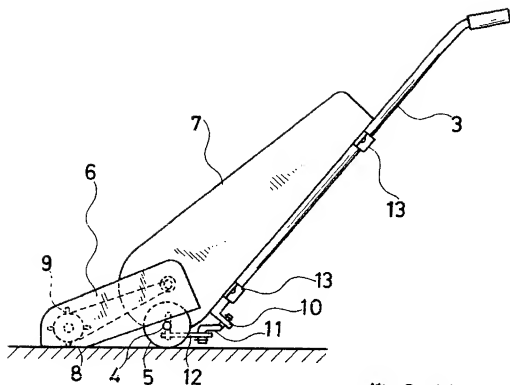


第 1 図

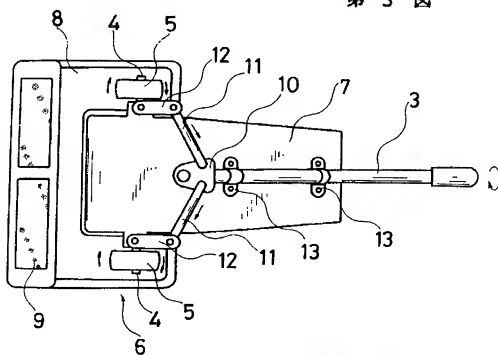


第 2 図

9345 $\frac{1}{2}$



第 3 図



第 4 図

3045 $\frac{2}{2}$